一般社団法人 大学コンソーシアム熊本

令和７年度 第２回教育のあり方に関する協議会議事要録

１．日　時　　令和 ７ 年１１ 月 ２７ 日（木）　１１時００分から１１時５０分

２．開催方法　オンライン開催（Zoom）

３．出席者

講　師　　横川 修（熊本県教育庁県立学校教育局高校教育課長）

出席者　　古閑　陽一（企画・運営委員長：熊本保健科学大学）、上野 伸一（九州看護福祉大学）、松村 健史（九州ルーテル学院大学）、西村 明博（熊本学園大学）、森平　健一（熊本県立技術短期大学校）、鈴木　元（熊本県立大学）、佐藤 敏明（熊本高等専門学校）、金岡 省吾（熊本大学）、河瀬 晴夫（熊本保健科学大学）、礒塚 光雲（尚絅大学・尚絅大学短期大学部）、長島 宏一（崇城大学）、緒方 道郎（東海大学）、宇都 香織（平成音楽大学）、坂本 尚史（代理：熊本県）、中村 雄大（代理：熊本市）、大谷 順（国際交流部会長）、折尾 知之（熊本県教育庁）、永田　佳子（熊本経済同友会）

欠席者　　井坂 和義（中九州短期大学）、内山 裕二（放送大学熊本学習センター）、三枝 敬明（学生教育部会長）、柳田紀代子（地域創造部会）

陪席者　　切通　康太（熊本県）

事務局　　木下　聖一（事務局長）、栂尾由紀子（次長）

４．講　演

（１）　最初に議長から熊本県教育庁県立学校教育局高校教育課の横川課長から「高校教育現場の現状と課題について」という演題での講演の後、意見交換の時間を設け、その後、企画・運営委員会を開催する旨の発言があった。

演題：「高校教育現場の現状と課題」
講師： 熊本県教育庁県立学校教育局高校教育課長　横川 修　氏

５．「高校教育現場の現状と課題（講演）」についての質疑応答

（河瀬委員）

県内大学への進学を促進するため、コンソの共同ＩＲで魅力ある大学にするための検討を行っている。高校現場のニーズなどを正確に把握するために熊本県教育委員会とコンソが共同でアンケート調査を実施することができないか。

（横川氏）

県内高校の魅力を確かめるため、県内大学の魅力を確かめるためという視点で共同アンケート調査を実施し、県内で学ぶことの魅力を共同発信できればよい。併せて県内私立高校を含めた構図になるとありがたい。

（河瀬委員）

どういった形で実現できるか相談したい。

（委員長）

高校生の県内指向・内向き志向が高まっているということだが、今の高校生の考え方、傾向の現状について知りたい。

（横川氏）

年内入試の割合が高まっているが、高校生は大学に行って学びたい内容や、その先の就職のことを考えたうえで、学部・学科の選択をしっかりと考えている。そのことを高校生等へ伝えていくこ

とで、県内大学への進学が高まっていくのではないか。

６．　大学コンソーシアム熊本第２期中期計画（抜粋）について

事務局から、18 歳人口の推移、大学・短大進学率の推移、熊本県の大学・短大進学率がほぼ横ばいであること、第二期中期計画における目標は県内大学進学率 50%であることについて説明があった。

（委員長）

熊本県の大学への進学率は全国に比べて低い、今後の見通しとして高校生の大学進学が増える可能性があるのか。

（横川氏）

普通高校の状況は大きくは変わらないだろう、可能性があるのは専門高校だろう。今後、産業界のニーズが高度化していくのであれば、専門高校から大学へ進学する高校生が増えていく可能性があるのではないか。

（永田氏）

高校のあり方検討会では、中学の先生から通信制の高校を選択する生徒が増えてきたと聞いているので、そこも考慮されてはいかがか。

（委員長）

大学の方も今後通信制という選択肢が広がってくると思われる。

以　上